

ヤコブ5章7節「主の時を待つ忍耐」

1A 主からの報い

1B 悪に対する報酬

2B 善に対する称賛

2A 私たちの忍耐

1B 主が来られる時

1C 遅いと感じる時

2C 思わぬ時に来られる方

2B 農夫の忍耐

1C 大地の実り

1D 天の恵み

2D 絶え間ない労苦

2C 初めの雨と後の雨

3A 主の忍耐

1B 滅ばず、悔い改めを待つ方

2B 明らかな実の収穫

本文

ヤコブの手紙 5 章を開いてください。私たちのヤコブの手紙の学びは、今日で終わります。午後に、5 章全体を一節ずつ学びます。今朝は、5 章 7 節に注目します。「**ですから、兄弟たち。主が来られる時まで耐え忍びなさい。見なさい。農夫は大地の貴重な実りを、初めの雨や後の雨が降るまで耐え忍んで待っています。**」

主が来られることを、私たちキリスト者は待ち遠しく思います。先週は復活祭でしたが、主が死者の中からよみがえられました。そして、天に昇られて、今は、神の右におられます。この方が天から現れてくださって、まず、私たち信じている者を引き上げてくださいます。それから、神が地上の罪と不正に対して御怒りを下されます。それから主イエスは、私たち聖徒と共に地上に戻ってきてくださいます。そして、神の国を立ててくださるのです。

私が、主が戻ってこられることを強く意識して、すでに 30 年ぐらい経っています。実は、2002 年に「聖書預言の旅」という拙著が発売されました。ちょうど、米国同時多発テロが起こって、1 年後のことでした。まるで映画の一場面であるかのような、あまりにも衝撃的な映像を見て、多くの人がもう世の末か？と震撼しました。しかし、すでに 22 年が経過していますね。多くのことが起こりました。その米同時多発テロが前代未聞の大事件だったのですが、その衝撃を上回る出来事が

次々と起こりました。けれども、まだ主が来られていません。いよいよ、産みの苦しみの痛み、陣痛も激しくなっているのに、それでは主は来られていません。そのような焦燥感に近い思いを、私は抱きがちです。もしかしたら、みなさんも多かれ少なかれ抱いているかもしれません。今、読んだみことばは、そうした私たちに必要なみことばです。「耐え忍びなさい」という勧めです。

1A 主からの報い

ここの箇所の背景は、金持ちが貧しい人々を虐げていることに対して、終わりの日に神が裁かれることを語った後のことです。この手紙を読んでいるユダヤ人信者たちの多くが、そうした金持ちの不正と横暴の被害を受けていることでしょう。それで、このような不正に対して怒りを抱き、その不正を正したいと願っていたことでしょう。イエスが地上におられた時から、ユダヤ人の間ではローマへの反発が強かったです。だから、ガリラヤ人に対して総督ピラトが、彼らを殺した後の血を、ガリラヤ人たちのいけにえの血に混ぜたという話があったぐらいです。また、イエス様に対して、納税をすべきかどうか試しました。そうした血気盛んなユダヤ人たちがいる中で、信者たちも同じように戦うべきなのか？という、そうではないのです。

1B 悪に対する報酬

耐え忍びなさい、ということなんです。ヤコブは、神ご自身が、これら虐げている者たち、迫害している者たちに報いてくださることを教えています。そして、それは主イエスが来られる時に行われると教えています。激しい迫害の中にいるテサロニケの信者たちに、パウロがはっきりと、主が彼らに報われることを教えています。「Ⅱテサ 1:6-9 神にとって正しいこととは、あなたがたを苦しめる者には、報いとして痛みを与え、苦しめられているあなたがたには、私たちとともに、報いとして安息を与えることです。このことは、主イエスが、燃える炎の中に、力ある御使いたちとともに天から現れるときに起こります。主は、神を知らない人々や、私たちの主イエスの福音に従わない人々に罰を与えられます。そのような者たちは、永遠の滅びという刑罰を受け、主の御前から、そして、その御力の栄光から退けられることとなります。」

ですから、私たちが早まった裁きをしてはならないと教えているのです。畑に毒麦の種が蒔かれた譬えの中で、しもべたちが主人に、「私たちが行って毒麦を抜き集めましょうか。」というと、主人は、「いや。毒麦を抜き集めるうちに麦も一緒に抜き取るかもしれない。」と答えています。(マタイ 13:28-29) 人の裁きは、このように早まってしまうし、誤るのです。パウロが、コリント第一でこう言っています。「4:5 ですから、主が来られるまでは、何についても先走ってさばいてはいけません。主は、間に隠れたことも明るみに出し、心の中のはかりごととも明らかにされます。そのときに、神からそれぞれの人に称賛が与えられるのです。」

2B 善に対する称賛

そして悪に対して、主はご自身が戻ってこられた時に報いられるだけでなく、善を行っていること

に対しても、称賛というかたちで報いてくださいます。山上の説教にあるイエス様のことばは、天からの報いの約束でいっぱいですね。「マタ 6:1 人に見せるために人前で善行をしないように気をつけなさい。そうでないと、天におられるあなたがたの父から報いを受けられません。」人の目から隠れたところで良いことをしなさい、そうすれば天の父から報われますと言われていました。

私たちの、主に対して行なったことは、ほとんどは目に尽きません。むしろ誤解されて、その恩恵を受けている人々から反発されたり、悪く言われたりすることさえあります。多くの場合は、はたして自分のしていることが役に立っているのか？と疑問に思うことさえあります。けれども、主は戻ってこられる時に、「あなたは、わずかなことに忠実だったから、大きなものを任せよう」と言ってくださいます。パウロは、こう励まします。「 I コリ 15:58 ですから、私の愛する兄弟たち。堅く立って、動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは、自分たちの労苦が主にあって無駄でないことを知っているのですから。」

ですから、主が来られる時に、悪いことであっても、良いことであっても報われるのです。今は、隠れているかもしれないですが、必ず神は、それぞれの行いに応じて報われます。パウロが、教会の中の罪の問題を、難しい課題に取り組んでいるテモテに対して、こう励ましました。「 I テモ 5:24-25 ある人たちの罪は、さばきを受ける前から明らかですが、ほかの人たちの罪は後で明らかになります。同じように、良い行いも明らかですが、そうでない場合でも、隠れたままではありません。」隠れたままではいることはない、ということです。

2A 私たちの忍耐

1B 主が来られる時

そこでヤコブは、「**主が来られる時まで耐え忍びなさい。**」と励まします。耐えきれなくなって、悪に対して仕返しをしたり、あるいはがっかりして、良い行いをやめてしまったりします。しかし、そうではなく、しっかりと信仰を働かせて、主の来られることを待ち望みなさいと勧めています。

1C 遅いと感じる時

私たちは、人と約束をしている時に、その待ち合わせ時間にこないとじれったくなりますね。なかなか、約束の通りにならないと忍耐が切れるということがあります。実は、主の来られる時について聖書が語っている時に、同じように待っている者にはじれったく感じるものが、多く書かれています。しかし、主は遅れることはないと言います。

ハバククが、ユダにある不正について、主に訴えていました。すると、主は、バビロンによってユダを裁くと言われました。バビロンは、ユダよりもっと悪い国です。いったい、どういうことですか？と訴えています。不正を正す時はいつ来るのか？と彼は思いました。主は、答えられます。「ハバ 2:3 この幻は、定めの時について証言し、終わりについて告げ、偽ってはいない。もし遅く

なっても、それを待て。必ず来る。遅れることはない。」遅くなっても待てと、主は言われます。しかし、遅れることはないのです。その後で、主はバビロンを徹底的に滅ぼされる幻を示されます。

主イエスが来られて、神の国を立てられる真理を、寓話にして子供用小説にしたのが、CS ルイスのナルニア王国です。そこで、最後の戦いがあります。ナルニア王国の戦士たちは、魔女の戦士たちと勇敢に戦います。けれども、劣勢になっていきます。もう、自分たちが敗けて、倒れてしまうのではないかと、危機一髪の時がきます。ナルニア軍を指揮していたピーターが、魔女と戦って殺されそうになりました。しかし、そこに獅子アスランがやってきます。彼は、魔女に襲い掛かります。そして、彼女に向かって吼えるだけです。吼えたらなんと、彼女が消滅しただけでなく、全ての敵が消失したのです。これで終わりです。「もし遅くなっても、それを待て。必ず来る。遅れることはない。」ということなのです。

2C 思わぬ時に来られる方

私たちが忍耐することによって、私たちのうちに品性が生まれます。キリストの似姿へと練り清められます。しかし、忍耐を放棄すると、今度は自分の肉を働かせる機会となってしまいます。今の世で信仰を貫けば、とても苦しいことが多いですから、一度、信仰という剣をさやに収めると、またたくまに世の誘惑に負けてしまうのです。

主人に家の管理を任されたしもべたちの喩えが、マタイ 24 章に書かれています。悪いしもべについては、こう言われました。「24:48-51 しかし彼が悪いしもべで、『主人の帰りは遅くなる』と心の中で思い、仲間のしもべたちをたたき始め、酒飲みたちと食べたり飲んだりしているなら、そのしもべの主人は、予期していない日、思いがけない時に帰って来て、彼を厳しく罰し、偽善者たちと同じ報いを与えます。しもべはそこで泣いて歯ぎしりするのです。」主人の帰りが遅いと心の中で思ってしまったので、それで、自分に任されている者たちを打ち叩き始めました。そして、酒飲みたちと食べたり飲んだりしていました。そうしたしもべに対しては、主人の帰りは、夜の盗人のように、思いがけない時に帰って来ることになるのです。

主が来られるのは遅く感じるかもしれませんが、しかし、いつ何時、戻ってこられるのか分からないのです。だから、いつも用意しているのです。主に任されていることを、主が今日、戻って来るかもしれないのですから、忠実に行うのです。

2B 農夫の忍耐

そしてヤコブは、耐え忍ぶことについて、とても良い例を挙げています。それは農夫が、収穫の時を待って耐え忍んでいる姿です。「見なさい。農夫は大地の貴重な実りを、初めの雨や後の雨が降るまで耐え忍んで待っています。」イスラエルの地は、地中海性気候のそれです。雨季と乾季に分かれます。雨季は 11 月頃から始まり、3 月頃に終わります。4 月から 10 月までが乾季です。

そこで作物の栽培は、雨季の始まる 11 月頃から種蒔きから始まります。けれども、まず長いこと雨の降らない土地に、雨が降らないといけません。その時期の雨を「初めの雨」と呼びます。この雨のおかげで、地面が柔らかくあります。そして、作物が育つのですが、最後に実を結ばせるのに力を与えるのは、3 月に降る雨で、それを「後の雨」と呼びます。他の訳では、初めの雨が秋の雨、後の雨が春の雨とも呼ばれています。

1C 大地の実り

1D 天の恵み

この雨によって、初めて大地の貴重な実りがあるのですが、農夫の忍耐には二つの特徴があります。一つは、天の恵みだということです。自分自身が全くコントロールができません。雨を降らせるのも、やませるのも、すべて天に任せるもの、つまり神に任せるものなのです。ですから、その良き賜物を、神に完全に拠り頼んで待っていないといけません。

それで農耕については、神に祈る儀式が偶像礼拝の中でも多くありますが、カナン地ではバアルの神が天候を支配しているとしていました。そこで、主ご自身が雨を降らせないのも、降らせるのも支配していることを示すために、バアル崇拝をしていたアハブ王に対して、エリヤが三年間、雨が降らないことを宣言したのです。そして、次に雨が降る時は、エリヤは熱心に祈りました。すると、主が大雨を降らせてくださったのです。

私たちは、自分たちのことについて、全くコントロールが効かないのを、あまり経験しません。便利になっていて、自分たちが何とかすればうまくいくように社会が作り替えられています。けれども、ひたすら待つだけということしかないのを、今でも農家の人々は経験しているのです。どんなに収穫を増し加えようとしても、収穫時に台風が来て、台無しにすることも多々あるのです。自分たちのしていることは、神の御手にあるということ、農家の人たちは、私たち以上に良く知っています。

それを私たちは、霊的にも知っていないといけません。主の時があります。その時までには、私たちは、主を待ち望むことをしていないといけません。心ではうめいています。けれども、そのうけきにさえ、御霊が助けをくださり、言葉にならないうめきをもって、みこころにそって執り成してくださいと、ロマ 8 章に書いてあります。しかし、耐え忍んで待っていると、主は必ず、実を結ばせてくださるのです。そこで手を出してはいけません。手を出すと、ちょうどハガルを通してイシュマエルを生んだアブラハムのようになってしまいます。御霊ではなく、肉の努力で行ったことなので、混乱や痛みが伴うのです。しかし主がしてくださるところには、良い実で満ちています。平和の実、義の実が結ばれています。

2D 絶え間ない労苦

そして農夫には、もう一つの課題があります。それは、待っているといっても、何もしないのでは

なく、全く逆で、毎日、耕し、整え、世話をしていかなければならないことです。農夫ではないのですが、遊牧民の生活を、あるクリスチャンの若者がモンゴルで体験した話を読んだことがあります。優雅に大地の草原を駆け走る馬と共に生きている人々ですが、実はものすごく忙しいのだそうです。都会の生活のようなせわしなさえ、あるとのこと。農家も同じで、朝早く起きて、晩までしなければいけないことはいっぱいです。

つまり、労苦がともなうのです。待っているのですが、それは何もしないということではなく、むしろ、今、与えられていることに忠実に働き、しかも、熱心にそれを行っていくのです。祈り、みことばを聞き、交わり、伝道をして、日々、与えられた仕事をこなします。タラントの譬えが、そのことをよく表していますね。主人に任されたお金があって、それで商売をしなければなりません。与えられたものを使って、主に対して仕えていくのです。

2C 初めの雨と後の雨

その中で、実が結ばれていくのですが、イスラエルの土地に降る初めの雨と、後の雨は、御霊が降り注がれることになぞらえられている預言があります。ヨエルの預言です。「2:23-24 シオンの子らよ。あなたがたの神、【主】にあつて、楽しみ喜べ。主は、義のわざとして、初めの雨を与え、かつてのように、あなたがたに大雨を降らせ、初めの雨と後の雨を降らせてくださる。打ち場は穀物で満ち、石がめは新しいぶどう酒と油であふれる。」この預言の後に、御霊が終わりの日に注がれる預言があります。「2:28 その後、わたしはすべての人にわたしの霊を注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、老人は夢を見、青年は幻を見る。」これは、五旬節の時、聖霊が弟子たちに降って、ペテロが説教を始める時に引用した箇所です。主が、ご自身が戻ってこられる前に、このようにして雨を降らせるようにして、御霊が注がれるということです。

主は、著しい御霊の働きによって、人々に救いの実を結ばせます。ある意味で、使徒たちの時代に初めの雨が降ったと言ってよいでしょう。そして、教会の歴史の中でも、雨が降り注ぐようなことが起こりました。そして、終わりの日に、主が収穫を行われる、その来臨の時に、後の雨を降り注がれると言ってもよいでしょう。主が、私たちの思いをはるかに超えた形で、御霊の降り注ぎを行ってください。異邦人の救いの完成があって、その後、大患難の終わりに、イスラエルがみな救われます。それは哀れみの御霊が注がれるからです。

3A 主の忍耐

そして、ここヤコブの手紙では、私たちが主の現れを、耐え忍んで待ち望むように命じられていますが、実は、主ご自身も、ご自身が戻ってこられることについて、耐え忍んでいるのです。

1B 減ばず、悔い改めを待つ方

主の来臨が遅いと感じている人々のことを気遣って、ペテロが第二の手紙でこう書きました。

「3:9 主は、ある人たちが遅れていると思っているように、約束したことを遅らせているのではなく、あなたがたに対して忍耐しておられるのです。だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。」主が忍耐して、人々が悔い改めるのを待っておられるのです。

主がどれほど忍耐深いからは、ソドムとゴモラの滅びにおいてもわかるでしょう。アブラハムが、正しい人を悪い人たちと共に滅ぼされるのか？と訴えたら、五十人いたら町全体を赦すと言われました。そして十人であっても、町全体を赦すと言われます。そしてロトの家族がソドムにいましたが、彼の呼びかけに応えたのは、自分の娘たちだけでした。妻も一緒に逃げましたが、後ろを振り向いていたので、塩の柱になってしまいました。彼らがソドムの町を出ていくまで、主は火を降らせることを留めておられたのです。

もし神が私のようなものであったら、とつくの昔に地上は滅ぼされていたことでしょう。そして、私自身も滅ぼされていたことでしょう！主の憐れみと忍耐によって、私が悔い改めの実を結ぶまで、待っておられるのです！

2B 明らかな実の収穫

そして先ほど引用した、毒麦のたとえですが、主人は、すぐに毒麦を刈り取らせませんでした。収穫の時期に、はっきりとこれが毒麦だと分かった時に、刈り取りをしてそれを燃える火の中にくべるのです。それまでは待っています。また、良い麦も同じように、実が結ばれていくのを待っておられるのです。人々に実が結ばれるのを待っていて、それで戻ってこられるのです。

その喩えだけでなく、黙示録 14 章には、穀物の収穫とぶどうの収穫の幻が書かれています。「14:15-16 すると、別の御使いが神殿から出て来て、雲の上に座っておられる方に大声で叫んだ。「あなたの鎌を送って、刈り取ってください。刈り入れの時が来ましたから。地の穀物は実っています。」雲の上に座っておられる方が地上に鎌を投げると、地は刈り取られた。」主が刈り取られませんが、「地の穀物は実っています」の実っている、というのは、もう穂が乾燥してきている、という意味合いがあります。ちょっと収穫するには遅すぎないか？というぐらい待っているのです。そしてぶどうの収穫も同じです。「14:18-19 すると、火をつかさどる権威を持つ別の御使いが祭壇から出て来て、鋭い鎌を持つ御使いに大声で呼びかけた。「あなたの鋭い鎌を送って、地のぶどうの房を刈り集めよ。ぶどうはすでに熟している。」御使いは地上に鎌を投げて、地のぶどうを刈り集め、神の憤りの大きな踏み場に投げ入れた。」ここの「熟している」というのは、あまりにも熟しすぎて、だめになってしまうのではないか？というぐらい、待っています。完熟しているのです。

このようにして、主は待ってくださいます。それは知恵なのです。実がはっきりと見えてくるのです。私たちが、忍耐して、御霊によって実が結ばれて、それを主が戻ってこられる時に受け取ってくださいます。